

Press Release

－お問い合わせ－

宇土市 まちづくり推進課 広報プロモーション係

担当:東(ひがし)、松田(まつだ)、古田(ふるた)

電話:0964-27-6608/メール:machi05@city.uto.lg.jp



133 年前の八雲が聴いた太鼓の記憶を現代に

太鼓芸能集団 絢衣「おとずれ」長浜公演

NHK 朝ドラ「ばけばけ」関連企画

宇土市を拠点に、宇土大太鼓の文化を源流として多角的に演奏活動を展開している太鼓芸能集団「絢衣」が長浜公演を行います。

日時：2月21日(土) 18:00～

場所：長浜福祉館(熊本県宇土市長浜町411番地2)

宇土の太鼓の歴史は江戸から明治時代にかけて作られた「雨乞い大太鼓」に深く根付くといい、夏の干ばつ時の雨乞い、田植え後の豊作を祈願して演奏されていたそうです。

宇土の太鼓は戦後衰退しましたが、市は平成に入って大太鼓の再生に力を入れ、今では絢衣など数団体が活動しています。

今回の長浜公演は、現在放送中のNHK朝の連続テレビ小説「ばけばけ」で描かれている小泉八雲(ラフカディオ・ハーン)が、宇土を通った際に目撃した雨乞い太鼓をモチーフに企画されています。

八雲は1893(明治26)年夏、夏休みに長崎を旅行。島原、三角を経て熊本へ戻りました。その途中、人力車で宇土半島北側を進んでいた八雲は裸の男たちが大小の太鼓を叩く姿や、太鼓の響きに心を奪われ、その時の情景を随筆「夏の日の夢」に書いています。

また、長浜神社近くの「天神の池」と呼ばれる湧水池で休憩をしています。公演会場はその長浜町にある長浜福祉館です。

まさに宇土は八雲が133年前に聴いた太鼓のひびきが現代につながるゆかりの地なのです。八雲を魅了した宇土の伝統太鼓などを聴いてみませんか。

問い合わせ先：太鼓芸能集団「絢衣」代表：高田

☎080(8582)2982

